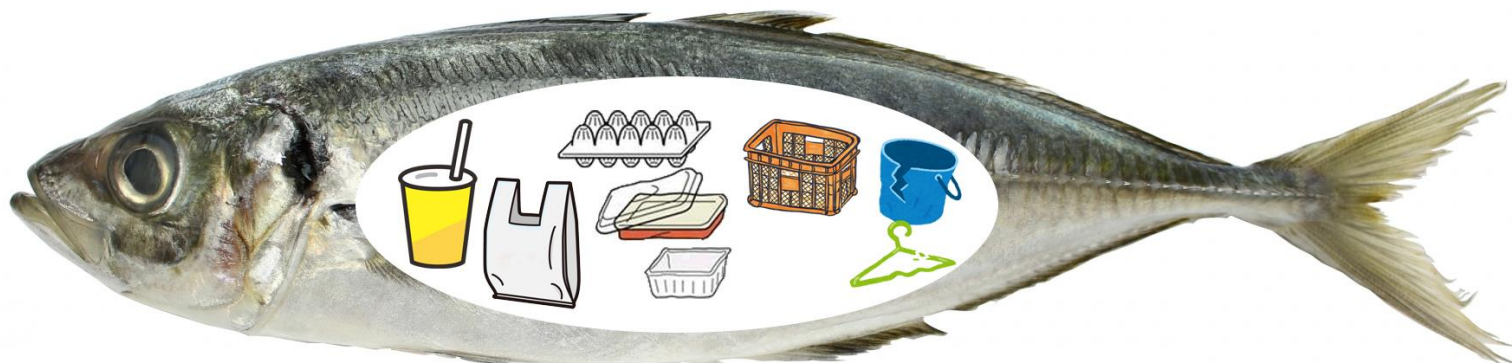


「マイクロプラスチック」ってなに？

～プラスチックごみ 世界で年3億ト！?～



※マイクロプラスチックとは

海に流れ出たプラスチックは、紫外線や波の力で碎けていきます。直径5mm以下の小さなプラスチックのごみをマイクロプラスチックと呼びます。プラスチックはいくら小さくても分解してなくなることはありません。有害物質が吸着し、そのマイクロプラスチックを動物プランクトンや魚がエサと間違えて食べ、生態系への影響が懸念されています。

もう少し海のこと考えて。

プラスチックごみの海洋汚染について、生活での消費量増加に加え、分解してもならない性質から、微少化した「マイクロプラスチック」による海洋生物への影響など、深刻な実態が明らかになってきており、これに対応しようとする市民・企業等の動きも盛んに報道されています。

環境を重視し、循環型の社会づくりを目指し、海なし県ゆえに日常的に知ることのない海のごみの現状について、学びを深め、「プラスチックごみを出さないために何ができるか」を考えてみませんか。



小島あずささん

一般社団法人 JEAN 事務局長、ICC (国際海岸クリーンアップ)の日本のコーディネーター。広告制作の仕事を経て、友人と共に布製の買い物袋を企画販売、日本初のエコバッグとなる。1991年に仲間3人で JEAN 設立、以来 ICC の日本での普及啓発、対策推進のための会議開催、政策提言などに取り組んでいる。

2018年 9月9日(日)

時間：13:30-15:00 (開場 13:00)

会場：山梨県立博物館 生涯学習室 (笛吹市御坂町成田 1501-1)

定員：100名

参加費：無料

※ 切：9月5日(水)

【お問い合わせ・お申し込み】

生活協同組合パルシステム山梨 運営室 (月～金 9:00～17:30)

TEL.055-243-6327

E-Mail.yamanashi-unnei@pal.or.jp

協賛：(一社)山梨県労働者福祉協会